

胃癌

アブラキサン療法レジメン

アルブミン懸濁型^ハクリタキセル療法レジメン

G-19

1コース：21日間隔

治療日		第1日目	第2~7日目	第8日目	第9~14日目	第15日目	第16~20日目	第21日目
治療内容								
検査	採血	○						○
診療								
治療中止基準	①好中球数 $1500/\text{mm}^3$ 未満 ②血小板 $100000/\text{mm}^3$ 未満	—						—
注意：インラインフィルターは使用しない！！ 特定生物由来製品使用同意書が必要です！！								
点滴	①生食100ml +デカドロン3.3mg 2A 点滴静注【30分】	○						○
	②アブラキサン点滴静注用 $260\text{mg}/\text{m}^2$ +生理食塩液 100ml 点滴静注【30分】	○						○
	③生食50ml ルートフラッシュ用(全開)	○						○
減量基準	好中球数が7日間以上にわたって $500/\text{mm}^3$ 未満となった場合、血小板数が $50000/\text{mm}^3$ 未満になった場合、FNが発現した場合次コースの投与量を減量すること。また、G3末梢神経障害が発現した場合は、G1以下(軽快または回復)するまで投与を延期し、次回の投与量を減量して投与すること。							

通常投与量 $260\text{mg}/\text{m}^2$ 1段階減量 $220\text{mg}/\text{m}^2$ 2段階減量 $180\text{mg}/\text{m}^2$

看護のPoint!!

***注意：インラインフィルターは使用しない！！**

血管外漏出すると大変！！

→血管外漏出時フローチャートに準じる

長期投与で手足のしびれが起こりやすい。

通常 of 自然滴下の投与速度で設定すると遅くなりやすいので、速度の調整が必要みたい。

吐き気は少ないのでアロキシなし。